

丹沢のまもり

Safe Mountain-climbing, Enjoy Mountain-climbing.

令和3年5月
神奈川県秦野警察署
山岳遭難救助隊発行



【訓練の様子】片側が急斜面の道を、ロープを使って安全に搬送しています。

山岳遭難救助訓練を実施

ハイシーズンを前に、大山で想定訓練を実施しました。大山で訓練前日に遭難者の家族から通報が入り、聴取内容から遭難者の状態や居場所を推測し、捜索の計画を立てました。訓練当日は三つの部隊を編成して捜索を実施。登山道や沢を探索していたところ、遭難者がら地図ソフトを使った座標が送信され、その情報をもとに現在地が判明しました。一番最初にたどり着いた部隊が現場を確認すると、遭難者は崖下へ滑落して足を骨折している可能性が高いことから、担架で崖から引上げ、登山道までの搬送を行いました。八時間当日は非常に寒い中、技術的・体力的に高度な訓練が出来ました。このように訓練を繰り返すこと、隊員たちは万が一の事故に備えています。

山岳事故発生状況

- 四月中、当署管内での山岳遭難事故の発生は一件です。
- 一月から四月末までの発生は五件でした。

過去のGW中に発生した山岳事故

五月に入り、GW(ゴールデンウィーク)の時期になりました。連休中は登山者の増加に伴い、事故の件数も比例して増える傾向にあります。この時期に発生した事故の統計について簡単にまとめました。

【過去5年間の発生は合計9件】

年別は、令和二年〇件、令和元年一件、平成三〇年三件、平成二九年二件、平成二八年三件です。負傷別では、死亡一件、重症三件、軽傷四件、無傷一件で、死亡事故の原因は病気でした。事故別では、病気(体調不良)三件、転倒三件、滑落二件、道迷い一件でした。転倒と滑落を合わせた五件のうち、三件が重症で大きなケガへと繋がっています。

また、滑落の一件は道迷いが原因で、沢へ迷い込んでの滑落でした。年代別では、一〇代が一件、三〇代が一件、四〇代が一件、六〇代が三件、七〇代が二件、八〇代が一件でした。

このうち、六〇代以上の事故が六件で、高齢者の事故が多く発生しています。

事故の原因は、装備不全、体調管理不足、自身の体力の過信等様々です。また、昨年から本年にかけては、コロナ禍において体力が低下したことによる行動不能が増えています。

チャレンジしたいのは、登りたい山ではなく登れる山。自身の体力や経験などを考慮し、万全な準備で安全な登山を。

秦野警察署山岳遭難救助隊

【秦野警察署】

0463-83-0110

【秦野警察署ホームページ】

https://www.police.pref.kanagawa.jp/ps/72ps/72_idx.htm

【秦野警察署公式Twitter】

@Hadano_Police

